

第31回いせはら市展 写真部門

入賞者

伊勢原市長賞	倉田 えり	だいすきなおともだち	伊勢原市
伊勢原市議会議長賞	上田 雅貴	陰でひっそり	小田原フラワーガーデン
伊勢原市教育委員会賞	重田 敬子	細い月と夕焼け	伊勢原市内
優秀賞 (ネイチャー・風景)	高山 明照	居眠り	厚木市
優秀賞 (ネイチャー・風景)	迫田 哲郎	くつろぐ	秦野市
優秀賞 (人物・スナップ・その他)	佐々木 利夫	花棒を担ぐ	秦野市
優秀賞 (人物・スナップ・その他)	飛田 繁男	天空大橋	神奈川県山北町
審査員奨励賞 (ネイチャー・風景)	金澤 雅義	雪国伊勢原	伊勢原市高森
審査員奨励賞 (ネイチャー・風景)	島田 雅裕	-7℃の華	伊勢原市
審査員奨励賞 (ネイチャー・風景)	穂積 守久	燃える晩秋	修善寺
審査員奨励賞 (人物・スナップ・その他)	小椋 さおり	劇団ぴーなっつ	劇団の練習風景
審査員奨励賞 (人物・スナップ・その他)	金子 弘三郎	覗き穴の先は雪国だった	富山県南砺市
審査員奨励賞 (人物・スナップ・その他)	高山 登	大山を望みつつ心は箱根路へ	伊勢原市内

入選者

相庭 幸子	秋色の道	滋賀県米原市	金澤 雅義	絶景かな!	伊勢原市高森
相庭 幸子	たかーい!	横浜・八景島シーパラダイス	金子 弘三郎	哀愁漂う背中	自宅
穂田 康史	整列した自由	伊勢原市内	鹿生 あや子	名残り雪 (大山)	伊勢原市
穂田 康史	365日の硬度	伊勢原市内	鹿生 あや子	春うらら	伊勢原市
浅田 靖久	60回目の深秋	大山ケーブル駅	鹿生 文男	春光のしだれ	青森県弘前市
浅田 靖久	微笑みランタン	パシフィック横浜	鹿生 文男	佇む青肌トンボ	伊豆市 (萬城の滝)
阿部 一郎	万博モニュメント1	大阪府	鍛代 尚生	燕岳	燕岳山頂
阿部 一郎	万博モニュメント2	大阪府	木下 朋子	塀の穴	大磯町
石川 浩一	光の行列、 大山道のにぎわい	東京都内赤坂門跡前	草野 節子	背筋を伸ばしてたら 腰が疲れた	箱根町
稲次 正知	熱血指導	京都市	草野 節子	宵の風の音	小田原市
上田 雅貴	雪にもまれて	秦野戸川公園	倉田 えり	淡く、咲く	横浜市
江頭 良弘	春を探しに	寄	小瀬村 一郎	花園でのひととき	国営武蔵丘陵森林公園
岡村 安浩	輝く光跡	首都高	小瀬村 一郎	古都散策	京都銀閣
岡村 安浩	ママ手伝って	横浜市	迫田 哲郎	夕焼けシルエット	釧路市
小椋 さおり	山田用さん?	伊勢原市	佐々木 利夫	極寒の静粛	南足柄市

入選者

佐藤 隆	ようこそ大山へ	伊勢原市	松永 良夫	雨降山春衣	大井町
佐藤 隆	都会夜光	横浜市	松永 良夫	残光艶美	秦野市
重田 敬子	さりげない逆さ富士	西湖	真野 勝	秋の詩	長野県
柴田 富洋	No1	宇都宮市内	真野 勝	光芒の流れ	神奈川県
柴田 富洋	母と子	海老名市内	森 義晴	聖峰からの月の出	伊勢原市
島田 雅裕	タイヤを見ながら帰巢	海老名市	森 義晴	摩訶不思議！！	秋田県
曾我 博	happy happy 支えた笑顔	小山町	谷田部 卓	踊るチューリップ	伊勢原市の自宅庭
曾我 博	SAKAWA WAVE	小田原市	谷田部 卓	孤高の花	花菜ガーデン
高山 明照	秋映える	山形県朝日町	山口 勇	家族で協力	伊勢原市
高山 登	大山とロマンスカー	伊勢原市内	山口 勇	土筆	秦野市
田中 芳孝	アルカリを求めて	大磯町	山口 一雄	花芯の煌めき	秦野市
田中 芳孝	形相	伊東市	山口 一雄	冬を翔ける者	北海道
飛田 繁男	射光	伊勢原市	山崎 雅翔	残光	三笠市
沼田 勝子	花散歩	伊勢原市	山崎 雅翔	秋を待つ	串橋のひまわり畑
沼田 勝子	額縁もって	海老名市	山下 和祥	硝子の水面	山梨県昇仙峡
日高 龍博	満開	塩船観音寺	山下 浩	うたかたの栄華	横浜三溪園
日高 龍博	舞う	山下公園	山下 浩	恋歌	横浜三溪園
二見 美乃絵	いせはらには大山がある	伊勢原市	山本 修一	瑞兆の夕陽	南伊豆
穂積 守久	穏やかな夕暮れ	横須賀市	横尾 政一	オラの兄貴分	宮ヶ瀬ダム
舞出 勉	梅雨の彩りを映して	箱根町	横尾 政一	収穫	下糟屋
舞出 勉	秋を疾走	市内池端	吉岡 敏子	大地の恵み	神奈川県箱根町小涌谷

出品協力者

無鑑査

神戸 信義	白銀に祈る	市内日向	第12回、第14回市長賞受賞者
新城 英一	浮遊	川崎市	第11回、第19回市長賞受賞者
池田 厚子	佇む	厚木市	第10回、第21回市長賞受'
大場 憲子	一緒がいいね	雨岳文庫	第22回、第23回市長賞受賞者

実行委員

中村 隆成	魅せる	横浜市泉区	熊澤 信一	夏の記憶	日向
-------	-----	-------	-------	------	----

写真部門審査講評

《全体講評》

今回の市展は、強い写真というよりも穏やかな写真が並んだ印象です。そういう意味でも、劇的な瞬間でなくても良いという、個人個人が、自分の世界を見つめ始めたのかもしれないと感じています。また、残念ながら今回は入賞を逃してしまった作品の中にも、視点が面白い写真など、この先の楽しさを感じる写真も多くありましたので、次へつながっていくステップを感じられた回になったと思います。

《伊勢原市長賞》

…倉田 えり「だいすきなおともだち」…

純真無垢な二人がかわいいです。摘んだばかりのたんぽぽを手に持つ様子も物語を膨らませました。桜並木の背景をぼかした効果が子どもたちの世界を引き立て、構図の決め方も上手です。漢字を使わない題名も子どもたち目線であり、二人の年齢を表わしています。

《伊勢原市議会議長賞》

…上田 雅貴「陰でひっそり」…

朽ち果てる花びらさえ被写体としてすくい上げる作者の恩情を感じます。まるで舞台のスポットライトで照らされる様な光景は、命の尊さとその終幕のわびしさを美しく演出され、輪廻の世界を感じる作品です。

《伊勢原市教育委員会賞》

…重田 敬子「細い月と夕焼け」…

細い三日月と空のグラデーションが落ち着いた空間を演出しています。特別な強さのようなものではありませんが、長くゆったりと見ていられる写真です。風景に対する作者独自の感性を感じます。

《優秀賞》

…高山 明照「居眠り」…

葉陰での昼寝でしょうか、コミカルな鳥獣戯画を思わせます。背景を単純化した被写界深度の効果が主役のカエルを引き立て、緑のモノトーンが季節感をも見せています。

《優秀賞》

…迫田 哲郎「くつろぐ」…

木陰でピクニックを楽しむ至福のひとつときです。二人の存在は僅かな部分の画面構成ですが、自然の雄大さと対比して表現しているようです。ともに飲んでいる瞬間を捉えているのがくつろぎを象徴しています。

《優秀賞》

…佐々木 利夫「花棒を担ぐ」…

担ぎ手を主題に徹底的に切り詰めた構図が臨場感を見せています。手前に縄を引く3つの腕、奥に見える見物客、住宅街という地域性など多彩な情報が無駄なく凝縮されており、傾いた画面も躍動感を引き立てています。

《優秀賞》

…飛田 繁男「天空大橋」…

山間部に出現した巨大建造物。第二東名高速建設や旧路線のリニューアル工事など神奈川県西部に見られる光景です。下部に見える日常の風景に重くのしかかる様な橋脚の登場は開発と近代化の姿を如実に表現しています。

写真部門審査講評

<p>《審査員奨励賞》 …金澤 雅義「雪国伊勢原」…</p>	<p>《審査員奨励賞》 …島田 雅裕「-7℃の華」…</p>
<p>高台から撮影されたことで、家々の並びが面白く写っていて空間の捉え方が上手な写真です。しかし、全体が青すぎたことで雪の印象が少し弱くなっています。抑えた感じの青にすれば、より雪国を演出してあげられると思います。</p>	<p>植物も身を縮める寒冷の時期でありながら、-7℃の条件下が作りだした自然現象の開花を撮られました。一般的な「花」ではなく「華」と題した作者の気持ちに優雅に咲いていた様子を感じます。</p>
<p>《審査員奨励賞》 …穂積 守久「燃える晩秋」…</p>	<p>《審査員奨励賞》 …小椋 さおり「劇団ぴーなっつ」…</p>
<p>光芒のさす良い瞬間を捉えています。少し左側の斜面の空間が気になりました。おそらく、別カットも撮っていると思いますが、他の視点であれば、よりこの瞬間を感じられる写真になった可能性もあるかもしれないと思いました。</p>	<p>化粧をする女の子の目線が良く、使用している鏡がなんだか古風なところも劇団という感じを出していると思います。作者は親族や知人だと思いますが、継続して撮っていくと、さらに面白くなると思います。</p>
<p>《審査員奨励賞》 …金子 弘三郎「覗き穴の先は雪国だった」…</p>	<p>《審査員奨励賞》 …高山 登「大山を望みつつ心は箱根路へ」…</p>
<p>川端康成の小説「雪国」の題名にひっかけたユニークな作品です。覗き穴の謎にも興味を抱きますが、その出口付近に焦点を置き雪景色の合掌造りをあえてぼかして幻想的な世界へ転換した効果に作者の意図を感じます。</p>	<p>ロマンスカーは、多くの人が撮るだけに、個性を出すのが難しい被写体でもあります。しかし、この作品は画面の中をほぼ青でまとめてあり、煽って撮っていることで、架線の位置も良く、すっきりしていて映像的な美しさを感じました。</p>

◆ 審査員 ◆ 亀井 正樹 宮本 遼